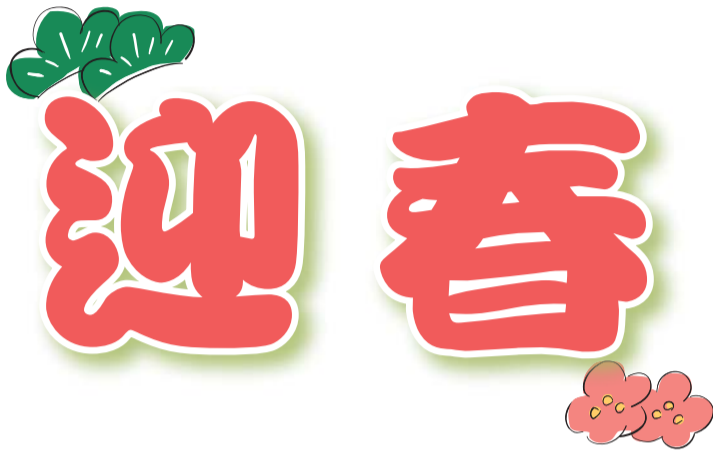


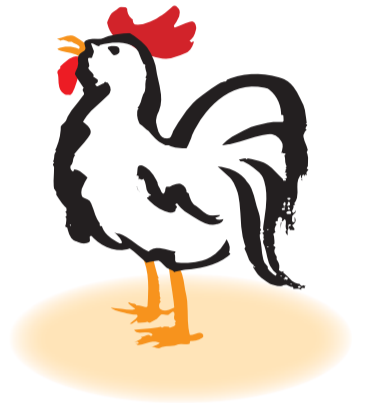


杉並区議会だより [発行] 杉並区議会 [編集] 区議会広報委員会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎3312-2111 FAX 5307-0695
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/kugikai/> [携帯サイト] <http://mobile.city.suginami.tokyo.jp/kugikai/>



2017年

今年もよろしく
 お願い申し上げます



杉並区議会議員一同



議場の議席にて撮影

新年のごあいさつ



杉並区議会議長
 井口かづ子

あけましておめでとうございます。

区民の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平成29年の年頭にあたり、杉並区議会を代表して一言、ごあいさつを申し上げます。

昨年8月、リオデジャネイロで開催された夏季オリンピック・パラリンピックでは、出場選手の一挙手一投足に日本中が沸き、感動の渦に包まれた、素晴らしい大会となりました。また、10月には、サイエンス分野の研究において3年連続となる、ノーベル生理学・医学賞を東京工業大学の大隅良典栄誉教授が受賞されるという喜ばしいニュースがありました。

一方、熊本県や大分県地域を襲った地震は、文化遺産の損壊をはじめ、多くの住宅も倒壊するなど、広範囲において甚大な被害をもたらしました。

らすという大変痛ましい自然災害も発生いたしました。

そのような中、杉並区政におきましては、区民等の意見提出手続の結果等を踏まえ、「杉並区実行計画」をはじめ、「杉並区協働推進計画」「杉並区行政改革推進計画」の他、「杉並区区立施設再編整備計画(第一期)・第一次実施プラン」といった今後の区政の方向を示す、重要な各計画が改定されたことに伴い、区議会では全員協議会を開催いたしました。

これらの改定された計画の中には、高まる保育需要に因應するため、保育施設を計画的に整備し、待機児童ゼロを目指すための対策や、首都直下地震に対応するための災害に強い防災まちづくり計画など、区民生活に密着した喫緊の諸課題への取組が盛り込まれています。地方分権の推進により、地方議会の果たすべき役割はますます重要になってきております。私たち杉並区議会議員は、今回提示された各計画を着実に推進し、次世代が希望を持てる輝きのある杉並となるよう、全力を挙げ努めてまいります。

区民の皆様におかれましては、笑顔あふれる1年となりますことを祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成28年

第4回定例会

「一般会計補正予算(第6号)」等を可決しました

第4回定例会は、11月17日から12月7日までの21日間の会期で開かれました。初日から21日にかけて、20名の議員が区政一般について質問を行いました。

今定例会では、民営保育園の保育士確保支援に要する経費や施設の整備・改修経費等にかかる補正予算案、給与改定に関する条例案など区長提出の29議案と委員会提出の1議案を審議し、全て原案どおり可決しました(審議の結果は、8面をご覧ください)。

主な内容

- 会派から年頭のごあいさつ…………… 2・3
- 区政を問う・一般質問…………… 4～6
- 委員会の活動、陳情の審査結果等…………… 7
- 議案等の概要と審査結果…………… 8

平成29年第1回定例会は2月13日(月)から開会予定です。当初予算案等について、審査します。

年頭のびあいさつ

杉並区議会 自由民主党

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は杉並区政においては様々な出来事がありました。中でも保育の待機児童解消に伴う緊急対策が大きな議題となりました。日本は本格的な少子高齢社会・人口減少社会に突入していますが、東京では一極集中が進み、杉並区の人口も増えています。しかしながら、私たちが暮らす杉並区は住宅都市として栄えていますので、そもそも保育所を整備する土地を見つけない状況下にあります。女性の社会進出が当たり前になった今、子供を預けなければ

ならない家庭にとって、保育所に入ることができるといへば生活に直結する重大問題であり、区は一部公園を保育所に転用することで課題解決を図ろうとしました。一方で、日頃から公園を利用している住民にとっては良好な住環境が損なわれることになりかねず、一連の課題は大きな住民運動となりました。私たちは、双方の立場や思いを尊重しながら共存共栄の道を模索し、公園代替地整備の実現に向けて努めてきた次第です。

これからの杉並区においては、区立施設の再編整備が進み、限られた資源を住民同士で譲り合っていたりしながら、より安心で住み良いまちを皆でつくっていくこととなります。保育のみならず、いつ来るか分からない首都直下地震への備えや、ずっと住み続けたいと思えるようなまちづくり、特別養護老人ホーム等の整備や医療等の高齢者施策、将来を担う子供たちの健全育成、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた機運の醸成と地域経済の活性化等、喫緊に対応していかなければならない課題が多々あります。

私たち杉並区議会自由民主党は区議会第一会派としての責任を自覚し、地域に根付いた活動を行っておりますが、引き続き現場の声に耳を傾け、時に皆様とも議論していきながら、区政発展の一助となるべく努めてまいりたいと考えています。本年も変わらぬ温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。平成29年の年頭のご挨拶と致します。



井口 かづ子 富本 卓 小泉 やすお
吉田 あい 大熊 昌巳 はなし 俊郎
今井 ひろし 浅井 くにお 脇坂 たつや (幹事長)
大泉 やすまさ 井原 太一 大和田 伸 (副幹事長)

区民フォーラム

新年おめでとうございます。私達区民フォーラムみらいは、民進党所属4名、無所属2名の議員で結成し活動しております。現区政の基本的な方向性を支持しながら、区民の皆様の声を集約して熟議を尽くし、未来志向の政策提言を行っております。

旧年中、夏の都知事選では、改革に期待する世論が新知事誕生を後押ししました。少子高齢・人口減少が進み、杉並区でも高齢化率が20%を超えました。高度成長時代に建設された区立施設は老朽化してその建て替えは待たないで、また、社会のニーズに合わせ、引き続き、保育待機児童対策、介護施設整備を急がねばなりません。

私達は区内の様々な団体・区民の皆様と意見交換を重ね質疑や区への要望活動を通じて

いのちのち。平和クラブ。

新年おめでとうございます。憲法と平和の危機に、立場の違いを超えて結成した、いのちのち。平和クラブは今年3年目を迎えます。

私たちは第一に、寄せられた切実な相談から、子育て世

で政策実現に努めてきました。その結果、子育て支援・教育分野、高齢者施策や防災対策で一定の前進を得ました。本年は、区民の皆様と共に創り上げた、杉並区基本構想の着実な実現に努めると共に、超高齢社会に対応した行財政改革を推進して、持続可能な区政経営を目指します。



安斉 あきら (副幹事長) 河津 利恵子 太田 哲二
上野 エリカ 山本 あけみ 増田 裕一 (幹事長)

杉並わくわく会議

あけましておめでとうございます。昨年、私は「あんさんぶる荻窪」の財産交換、公園を廃止しての保育園建設や保育園の民営化、高円寺小中一貫校、

代のくらしが立ち行かなくな

めて進めてきました。さらに、若者の雇用や就労支援に加え、給付型奨学金制度の実現を求め、不足する重度障がい者の通所施設の拡充を進め、差別のない地域づくりに取り組んでいます。国政では安倍政権が憲法や民主主義を壊し、TPPの強行や原発再稼働を進めていきます。これに対して引き続き政党や団体の違いを超え、全国の自治体議員と力を合わせ杉並からも声を上げていきます。今年もよろしくお願ひいたします。



そね 文子 (幹事長) 新城 せつこ けしば 誠一
川野 たかあき 奥田 雅子 市来 とも子 (副幹事長)
松尾 ゆり

児童館廃止などの問題を追及しました。区政が子どもの居場所を脅かしています。次代を担う子どもたちのために、区政の転換を！

★年頭にあたり、議会各会派のあいさつをお届けします★

杉並区議会

あけましておめでとうござい
ます。皆さまには、お健やかに
新年を迎えのこととお慶び申し
あげます。また、日頃より、杉並
区議会公明党へ温かいご理解とご
支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年、保育の緊急対策や学校改
築等にあたり、区民の皆さまから
多くのご意見・ご提案を頂き、区
政参画への熱意を感じることができ
ました。

杉並区は、超高齢社会への対応、
子育て・教育環境の整備、災害
対策、まちづくりや地域の活性化
など課題が山積しています。我が
会派は、これらの課題を解決すべ
く、昨年末改定された実行計画、
区立施設再編整備計画に会派意
見を反映させるとともに、来
年度予算に対する291項目の要
望書も提出させていただきました。

きました。これらの政策提言は、
区民の皆さまの生活現場に伺い
「お声」をお聞かせいただいた
賜物です。

本年は、杉並区基本構想を
実現するための総合計画の後
半5年間のスタートの年にあ
たります。総合計画の改定にあ
たっては、医療・介護の連携
による地域包括支援体制の
構築、熊本地震の教訓を踏ま
えた新たな震災対策、保育の
質と量の確保、学校教育の環
境整備、東京オリンピック・
パラリンピック開催に向けた
バリアフリーの推進及び観光
誘致等地域の活性化、持続可
能な行財政改革の推進など、
直面する課題に会派一丸とな
って、果敢に挑戦してまいり
ます。そして、「希望が、ゆき
わたる杉並へ」と働いてまい
ります。

本年も何卒よろしくお願
い申し上げます。



大槻 城一



渡辺 富士雄



島田 敏光
(幹事長)



横山 えみ



山本 ひろこ



中村 康弘



北 明範
(副幹事長)



川原口 宏之

日本共産党 杉並区議団

あけましておめでとうござ
います。

昨年末、安保法制「戦争法」
に基づき自衛隊の任務に「駆
け付け警護」が盛り込まれま
した。南スーダンに派遣され
た自衛官が武力紛争に巻き込
まれる危険性が高まっていま
す。日本共産党は憲法9条を
堅持し、平和を願う全ての市
民・野党との共同を深め「戦
争する国づくり」を止めるべ
く全力を尽くす決意です。

杉並区では保育緊急事態宣
言により認可保育所の大規模
増設が打ち出されました。保
育所整備は重要ですが、住民
無視の計画強行は各地で問題
を深刻化させています。子ど
も達の利用頻度が高い公園が
廃止・縮小され、居場所を失
った子ども達が地域をさまよ
い歩く事態も発生しています。
保育所整備を怠ってきた区政
の失策を住民や子ども達に背
負わせることは許されません。



金子けんたろう
(副幹事長)



原田 あきら



くすやま 美紀



上保 まさたけ



山田 耕平
(幹事長)



富田 たく

自民 無所属クラブ

あけましておめでとうござ
います。

昨年は、保育所待機児童が
社会問題となり、杉並区でも
「すぎなみ保育緊急事態宣
言」として待機児童ゼロに向
けて動きだしました。保育所
に入園できず困っている方が
多くおられますので、保育所
の増設の必要性を感じていま
すが、多くの方が利用してい

児童館や小中学校等、区民
の財産でもある区立施設が次
々と削減・統廃合され、区立
保育園の民営化も加速してい
ます。区民サービスを大きく
低下させる一方、昨年度は42
億円の税金を積み増し現在
460億円の税金が貯めこ
まれています。杉並区の豊か
な財政力は区民生活のために
こそ活用すべきです。

「区民が主人公」となる区政
の実現に向けて、今年も全力
を尽くします！



田中ゆうたろう



松浦 芳子
(幹事長)



佐々木 浩
(副幹事長)

る公園にいくなり保育所を建
てるという強引なやり方には
疑問を持っています。公園を
利用している子供たちや高齢
者の意見もすっかり聞いてか
ら結論を出していただきたい
かと残念でなりません。

議会と行政は車の両輪と称
されますが、区民の声を良く
聞き、豊かで安心して暮ら
すための力を合わせてまいり
ます。

新年を謹んでお慶びを申し
上げ、ご家族皆様のご健康と
ご多幸を心よりお祈り申し上
げます。

保育所開設にあたっては、
保育の質が気になるところで
すが、研修を充実させたり、
地域の力も借りたりする等、
保護者が安心できるような、
できる限り工夫し、また育休
の充実についても国に要望をし
ていく所存です。



小林 ゆみ



藤本 なおや



岩田 いくま

美しい杉並

昨年の区政には多くの疑問
が残りました。待機児童ゼロを
拙速に目指すあまりの区立公
園つぶし、外国人参政権を是
とし都知事選に大敗した増田
寛也氏の区顧問就任、区長・
区議団の理不尽な韓国訪問。
これ以上失策を重ねぬよう、
今年も保守の本分を貫きます。
美しき我が町杉並を守らむと
心に誓ふ初春の朝

無所属

区の経常収支比率の算出に
不適切な処理がみられ、不正
確であることを指摘してきた
問題は、おかげさまで一定の
改善が図られました。今後も
手を緩めることなく抜本的な
課題解決に向けて改革を先導
していきます。職員の潜在力
を生かすも潰すも経営陣(区
長・議員)次第です。本年も
お力添えをお願いいたします。



堀部 やすし

無所属(木村)

昨年は、区民サービス向上
のための歳入増加策として自
動販売機設置や広告事業への
入札制度導入を提案、旧永福
南小学校跡地の築29年の教室
棟解体計画の不適切さやビー
チコート整備計画の不透明さ
を指摘する等行いました。本
年も引き続き税金の無駄遣い
にメスを入れるべく改革に真
正面から取り組んで参ります。



木村 ようこ



木梨 もりよし

新年を謹んでお慶びを申し
上げ、ご家族皆様のご健康と
ご多幸を心よりお祈り申し上
げます。

自然と共に、人々と共に、
共に生きる世の中を、杉並か
ら広げていきましょう。

区政を問う 一般質問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。11月17日・18日・21日に20名が質問しました。

高齢者の口腔機能向上に向け歯科保健対策のさらなる充実を



はなし俊郎 (自民)

問 高齢化が進むにつれて誤嚥性肺炎の死亡者が増えている。杉並区における現状は。

答 平成27年区内の主要死因の第3位が肺炎。死亡数は近年増加傾向にあり、背景には誤嚥性肺炎の増加があると考えられる。**問** 誤嚥の確認には、嚥下内視鏡等による検査が不可欠。検査を在宅医療の現場で実施するためにどう取り組むのか。

答 現在、区内に検査をできる医療機関がない。まず拠点を整備し、医科・歯科連携による実践的な積み重ねが必要と考える。**問** 検査の後、安全な食事摂取のためにどのようなフォロイ体制が必要と考えるか、見解は。

答 管理栄養士と介護職が協働した食事支援等、多職種連携によるフォロイ体制の整備が必要と考えている。



問 高齢者口腔ケアの充実が必要と考える。区はどのように取り組むのか所見を問う。

答 高齢化が急速に進む中、歯科保健の方向性を再検討し見定める必要が生じている。今後、歯科医師会や医師会、学識経験者からも幅広くご意見をいただき、検討していく。

久我山3丁目の狭あい道路整備/2020年に向けた区の取組



大熊昌巳 (自民)

問 久我山3丁目に狭あい道路重点整備路線の候補が示された。地域の交通事情を鑑みた安全対策・隅切り・電柱の移設を問う。

答 狭あい道路拡幅の進捗状況や放射第5号線の開通による交通状況の変化を把握した上で、所轄警察署と連携のもと、安全対策を行っていく。角敷地の隅切りは、適切な指導や地区計画の活用等と併せて整備促進に取り組む。電柱の移設は、今後も事業者と調整しながら推進する。



問 2020年に向け、バリアフリー対策、ミニ庭園等の緑の普及、区民参加型のストリートパフォーマンスについて問う。

答 駅を中心に公共性の高い施設・商業施設等のバリアフリー化を推進し、さらに海外からの来訪者等様々な立場の方達へ配慮したユニバーサルデザインのまちづくりを進める。区民懇談会でもまちの緑を増やす意見が出ており、みどりの創出に向けて努力する。区民参加の取組には、PR面やボランティアの確保等できる限りの支援をしたい。「オール杉並」のもと、区の英知を結集して一丸となって杉並らしさを最大限発揮していく。

保育の安全、発達障害、育児休業、介護予防について



今井ひろし (自民)

問 保育施設における重大事故防止について区の取組を問う。

答 児童の安全を守ることは施設運営上の最重要課題として取り組むべきもので、公立・私立を問わず、運営・設置事業者と対応について情報を共有し継続的にレベルアップを図っていく。**問** 発達障害者支援に向けた切れ目のない連携推進を問う。

答 医療・保健・福祉・教育・労働等の関係機関との連携をより強化し、相談体制を充実していく。また、広報や講演会等を通じて、障害への理解を深める活動にも積極的に取り組んでいく。**問** 育児・介護休業法改正に伴い、取得向上に向けた意識改革への取組を問う。



答 産業団体を通じて制度の周知や国の助成制度の案内をする等、各制度を利用しやすい環境づくりの支援に努めていく。

問 介護予防と軽度認知症の重症化予防対策の拡充を問う。

区長の外国人参政権に関する見解、区長・区議団の訪韓等



田中ゆうたろう (美杉)

問 区長の外国人参政権に関する見解およびその理由は。

答 賛否両論、様々な立場から意見が存在し、国民的議論の継続が必要と認識している。**問** 区長・区議団の12月(昨年)の訪韓は理不尽。中止すべきでは。

答 新たに就任した瑞草区長への訪問は、これからの両都市の親善を深める良い機会と考える。**問** 保育士確保を事業者任せでよいのか。十分に確保できない最悪の事態も想定すべきでは。

答 区の取組に加え、事業者の状況にあった個別の支援等、全力でバックアップしていく。**問** イベントの際、汚物等著しいマナー違反に悩む住民も多い。宣伝集客だけでなく、マナーの徹底もあわせて啓発すべきでは。

答 周辺住民への配慮を指導している。今後も主催者に、来訪者のマナーの啓発についても徹底するよう指導していく。

区民サービスの向上のため区の施設を活用した歳入増を



木村ようこ (無木)

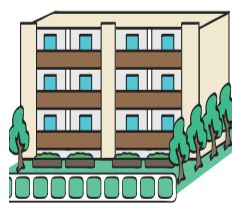
問 区有施設に設置されている自動販売機のうち、区に使用料が支払われているのは2台のみ。残りは全て使用料免除となっている。区立施設の委託先である公益財団法人杉並区スポーツ振興財団にまで使用料を免除する理由は。

答 同財団が公益財団として自動販売機の収益金を区のスポーツ振興に活用していること等を踏まえ、使用料を免除している。**問** ある団体が使用料の免除を受けて設置している自動販売機の中には、管理等を地元企業に委託しているものがある。そういったスキームが成り立つのだとすると、そこに利権・癒着が生じる可能性がある。実態を詳しく調査すべきではないか。

答 設置業者については、故障等のトラブルがあった際の連絡の必要性等から把握している。**問** 児童養護施設を巣立つ若者に対して、区営住宅を活用した住居支援策を求める。

答 区の審議会の答申では、児童養護施設退所者は住宅確保要配慮者としており、今後、居住支援協議会の中で住居支援のあり方について協議していく。

問 杉八小跡地に高円寺図書館が移ると、和田・堀ノ内地域最寄りの図書館がさらに遠のくが。



答 高円寺図書館の移転・改築と併せ、高円寺地域の2館目となる図書館は、引き続き整備候補地等の検討を進めていく。

区の保育施策(特に保育園増設)のゴールはいつ頃に?



富本卓 (自民)

問 保育園増設・定員数増のゴールをどこに定めているのか。

答 平成31年度までは未就学児童人口が伸び、それに伴い保育需要も増加すると見込んでいる。来年度「区立保育園のあり方」の検討の中でも議論を行う考え。

問 今回の緊急対策で地域偏在はどの程度解消するのか。

答 認可保育所整備が十分でなかった井草、西荻南、久我山・高井戸地域を大きく改善できた。今後も整備を促進していく。**問** 29年度以降の計画の年度別定員総数・園数は。田中区長就任からの増加数は。併せて、この間の財政支出の総額を問う。

答 29/31年度の間で11園、12園、11園の認可保育所を整備し、毎年度約1000名の定員増。区長就任の22年度から今年度整備予定の合計数は、約110カ所、約5700名、歳出金額の合計は約818億円の見込み。**問** これまでの取組に「待機児童ゼロ」という数字のみに捉われすぎた感がなかったか。再考すべきと考えるか、区の見解は。



都区制度、保育園増設、南相馬市の支援・交流



太田哲二 (未来)

問 23区の財源確保の方法に関して、特別区財政調整交付金の配分率アップ以外に、都と協議していることは何か。

答 大都市事務の財源配分として都市計画交付金の課題がある。実態に見合った引き上げを行うよう、都に対して強く協議の申し入れを行っている。

問 保育園拡充は、様々な日本の課題を解決する。4月までに2200人分を緊急に整備する方針は本当に実現するのか。

答 28年度当初計画の認可保育所、緊急対策第1弾・第2弾の認可保育所及び定期利用保育等事業所内保育事業の地域枠等です。すでに約2100名分を確保。さらに、選定中の家庭的保育事業や追加公募中の小規模保育事業等により、約2200名の定員を確保できる見込み。

問 福島県南相馬市の支援・交流は来年度も今年度と同じレベルが継続されるのか。

答 現在、南相馬市は生活関連インフラの復旧を果たしたものの、完全復興には今後も多くの課題を乗り越えていく必要があることから、必要な支援を今後適切に展開していく。

明日に、未来に希望が持てる社会を杉並区政から実現せよ



増田裕一 (未来)

問 児童養護施設退所後の生活状況における課題の把握は。またその支援について区の見解は。

答 都のアンケート等から、学業や就労、住まい等に課題があることを把握している。児童養護施設等との連携を強化し、継続的かつ、きめ細かな支援が対象者にスムーズに提供できる仕組みを構築していきたい。



問 発達障がい者が社会的に孤立しないために、早期の段階での取組が必要。区の考えは。

答 乳幼児期から成人期までの切れ目のない支援をより一層進め、発達障害者の自立や円滑な社会生活の促進を図り、共に生きる社会の実現を目指していく。

問 自殺対策計画の検討状況は。

答 都の計画を踏まえて策定するとされている。都の状況を注視しつつ、区の実態に即して関係機関との連携を強化し、実効性ある計画策定に生かしていく。

問 ラグビーワールドカップ2019日本大会への区の認識は。

答 翌年に開催されるオリンピック・パラリンピック東京大会に向け、区民の機運醸成と地域の活性化を図ることができ、大事な契機と認識している。

PDCAサイクルの機能を向上させ、仕事の質を高めよ！



中村康弘 (公明)

問 区は現状を客観的に把握し、確かな判断で改善を行っているか、またその判断や改善が適切かの検証を常に行う体制が必要と考えるが、区の見解は。

答 充実したPDCAサイクルの構築が非常に重要。行政評価はそれを進めるツールである。



問 行政評価の結果を予算編成へと結びつける運用状況と、その方針について問う。

答 評価結果は予算の要求や査定を行う資料として活用している。行政評価で最も重要なのは、事業の見直しや予算に適切に反映していくことと考える。

問 行政評価の結果や制度自体が、どの程度区民に普及しているのか、また周知方法で改善すべき点は何か、所見を問う。

答 評価結果は区HP等に掲載しているが認知度は高くない。今後、制度の認知度や関心を高める工夫をしていきたい。

問 行政評価の今後の展開は。

答 行政需要が拡大する中、必要なサービスを安定的・持続的に提供するには、より効率的な行政運営が必要である。そのためにも行政評価のさらなる有効活用を検討していく。

未来思考の経営の視点で公共施設再編、放5周辺の交通安全を



山本あけみ (未来)

問 公共施設のマネジメントは従来の「運営」から「経営」へと大きな発想の転換が必要ではないか、ご指摘のとおり区立施設再編整備では長期的展望に立ち、「経営」の視点から限られた施設や財源を有効に活用していく。

問 中央図書館改修について区民意見聴取や建物の可能性追求を図書館サービス基本方針具現化を求めた。その後の取組は。

答 図書館協議会やワークショップ等区民意見聴取に努め、基本方針の具現化を図っていく。

問 図書館改修は今後の可能性を最大限探り、内容と金額のすり合わせ等丁寧な取組を求めたい。

答 ご意見等を精査し、機能性・利便性・経済性等総合的な観点から、改修内容の方向性と設計の諸条件等の検討を進める。



問 放5開通後の岩通通り、富士見ヶ丘通りを含む生活道路の通過交通流入抑制対策と富士見ヶ丘通りの歩行者の安全対策は。

答 右折禁止や歩道を連続させ通過交通が流入しにくい道路構造とする。富士見ヶ丘通りは、現状の形態を生かしつつ学校用地を活用し連続する歩行空間確保等で歩行者安全対策を進める。

区立施設で石けん利用を進めよ/廃油回収で資源循環社会を



そね文子 (平和)

問 区は水環境を守る取組として全国的に展開されている「せっけん運動」についてどのような評価しているか、見解を問う。

答 日常生活の中で一人ひとりの行動により水環境の改善を図ろうとする取組は、企業の生産活動にも大きな教訓を与えた大変意義深いものと評価している。

問 環境基本計画の環境配慮行動指針で掲げた「洗剤は環境対応タイプを選び、その使用は必要最低限度に留める」を実現するための取組は。

答 水質汚濁を防ぐ取組として区民に行動を促しているところであり、様々な機会をとらえPRに努めていきたい。



問 区立施設で使用済み油の回収を実験的に始めてほしい。

答 コストや回収拠点、回収の実効性について課題があり、他の取組も参考にしつつ、具体的手法を研究していきたい。

問 イベントでは廃油を原料としたバイオディーゼル燃料での発電や、パネル展示等で環境意識の啓発を行ってほしい。

答 イベントの主催者や参加する環境団体等との連携も視野に入れつつ、考えていきたい。

子ども達の発達にも悪影響を与える小中一貫校計画の中止を！



上保まさたけ (共産)

問 文部科学省の研究チームの調査では、小中一貫校の小学校高学年児童は、日常的に中学生と自分を比べる機会が増えるため、普通校の高学年児童に比べ、自己肯定感にネガティブな傾向があるという結果が出ている。

問 本区の小中一貫教育は、児童・生徒の日常的な交流等を通じて、豊かな人間性が育まれるものと認識している。

問 同計画は、自己肯定感の獲得などの区の教育方針が目指す人間像にも矛盾し、周辺の住環境や子ども達の教育環境にも悪影響を与えるもので、計画の白紙撤回を求めるが、区の見解は。

答 計画の着実な推進を図り、望ましい教育環境を提供する。高円寺駅前事務所が廃止され、不便になったという声が寄せられている。高円寺北區民集会所をはじめ、区立の集会所等に区民事務所の窓口機能を併設させ、利便性を高めることを求めるが、見解を問う。

問 集会所等への窓口機能併設は考えていないが、高齢者等の情報通信機器に不慣れな方々へ丁寧な対応を工夫していく。

問 27年度は職員数3508名のうち、198名。保育課、特別支援教育課等が多い。

問 教員については長時間労働の把握ができていない。以前から指摘してきたが早急に改善を。

答 多忙化の指摘を受け、正規の勤務時間を超えた分を含め、勤務実態の把握に努めていく。



区役所の停電対策を!! 区職員の超勤改善を!!



富田たく (共産)

問 10月12日に発生した停電で区役所本庁舎の被害状況は。

答 エレベーター2基で4名が閉じ込められた。また、非常用放送設備が使えなくなった。

問 以前から区立施設のエレベーター閉じ込め防止対策を求めたが、区は防止機能を確保しているかと答弁してきた。今回の事態をどう認識しているか。

答 停電によりトラブルが発生した事を重く受け止めており、早急に対策を講ずることとした。本庁舎など利用頻度が高く、防災時の拠点となる施設は、早急に非常用バッテリー搭載のエレベーターへ入れ替えを求める。

問 本庁舎については今年度から改修工事を実施していく。

問 職員の長時間労働について月80時間以上の残業を行っている職員の実態は。

問 27年度は職員数3508名のうち、198名。保育課、特別支援教育課等が多い。

問 教員については長時間労働の把握ができていない。以前から指摘してきたが早急に改善を。



※1 PDCAサイクル=Plan(計画)、Do(実施)、Check(検証)、Action(改善)の4段階を繰り返し、業務を継続的に改善していく方法

区立保育園の民営化中止、増田顧問の高額報酬見直しを



山田耕平 (共産)

問 保育士不足に拍車がかかる中、安定的に保育士を確保できる区立保育園の運営が重要。既に民営化した保育園では、園長も含めた職員の大離職が発生し、保育の質が極端に低下。今回の区の民営化計画は手続き上も重大な瑕疵があり、慎重な検討も進められていない。民営化対象の上井草・杉並保育園の児童・保護者から公立園としての存続を求める声が上がられており、民営化方針を見直すべき。

答 保育人材確保は国レベルで処遇改善が進められており保育の質は民間事業者が創意工夫してレベルアップを図っている。民間の活力導入によりサービスの向上と運営の効率化を図る。



問 都知事選に立候補し、田中区長も応援した増田寛也氏が杉並区顧問に、「落選後の救済措置のようだ」と区民から批判の声が出されている。勤務実態は月2日、4〜5時間程度で月額報酬は35万円。区民の理解が得られると考えているのか、直ちに報酬額の見直しを。

答 職務内容や経歴、実績から妥当。住民からは十分な理解を得られると認識している。

再生可能エネルギー活用で脱原発へ。外環・放5の安全対策を



けしば誠一 (平和)

問 脱原発は世界でも日本でも着実な民意となりつつあるが、区の再生可能エネルギーの活用計画と進捗状況を問う。

答 杉並産エネルギーの創出と省エネルギーの推進を掲げ、太陽光発電機器や家庭用燃料電池等の導入助成、震災救援所への太陽光発電機器と蓄電池の設置等に取り組んでいる。



増田寛也氏の顧問就任、広聴、子どものスマホ利用について



小林ゆみ (自無)

問 顧問に就任した増田寛也氏は、区の総合戦略に対し、どのような助言を行ったのか。

答 区民意識の分析や、交流自治体と区の魅力を生かし補完し合う取組等の助言をもらった。増田氏の助言は、総合戦略の取組や交流自治体との連携にどう変化をもたらしているのか。

問 博多駅前陥没事故や中央環状品川線の地下水流入事故からも、外環道の大深度地下工事は安全と言えない。区の判断は。

答 国は施工にあたり「東京外環トンネル施工等検討委員会」等からの提言や博多事故等を踏まえ、安全対策の確保に努めているものと認識している。

子どもの居場所・スクールソーシャルワーカー・動物愛護について



川野たかあき (平和)

問 「中3勉強会」や「子ども食堂」等、区の施設内で実施されている子どもの居場所活動は、施設再編後も継続可能か。

答 「中3勉強会」は継続予定。また、各種子どもの居場所活動は、活動継続のため区として一定の配慮が必要と認識している。

問 放射第5号線の供用開始の日程は。また、通過交通量は1日何台との推計か。

答 供用開始は平成29年度末を目途、交通量の推計は1日あたり4万4200台と聞いている。

通学路の交通事故が急増！安全な生活環境整備は大人の責務



大槻城一 (公明)

問 小学校・子供園・保育園等周辺通学路の交通安全対策について、ゼロベースかつ、子どもの視点からの検討が必要では。

答 ご指摘は極めて重要な課題。子どもたちの安心・安全な生活環境を整えることは大人の責務。関係機関と連携し、悲惨な交通事故がないまちの実現を目指す。

問 課題を抱える子ども達のための居場所作りは、今後、より重要になってくる。ぜひ、発展・拡充してほしいがいかがか。

答 多種多様な子どもの居場所の確保は不可欠。情報を収集し、関係課等と連携して支援に努める。

区立保育園の民営化、高円寺小中一貫校について



松尾ゆり (杉わ)

問 民営化された区立保育園で昨春園長を含む7人の職員が退職したが承知しているか。

答 承知している。当該園では系列園からのベテラン職員の異動等に対応している。

問 阿佐谷北・阿佐谷南保育園の移転が予定されているが、2園は民営化するのか。また馬橋・上井草保育園のような区立園の廃止は今後も続けていくのか。

答 2園の移転時点での民営化は考えていない。2園も含めて来年度、検討する予定。

人事・給与制度改革「特別区人事委員会」のあり方は中立か



堀部やすし (無)

問 人事委員に天下り退職区長が含まれている。しかも、23区の各区議会の人事同意を得ることなく、23区長の判断のみで委員が就任しているのは特別区人事委員会のみである。人事委員会は職員から人事行政について不服申立て等があった場合、これを審査する機関であり、区からの独立・中立が求められる。

答 人事委員会は3名の合議制で運営されており、中立的な第三者機関であると認識している。

問 区職員の平均給与は、年額約712万円である。国税庁の民間給与実態統計調査によれば、民間人の平均給与は420万円。正規労働者に限っても485万円である。職員の給与水準が民間準拠というなら、国税庁の同調査の各データも活用し、その可否を判断していく必要がある。

答 調査の目的が異なることから、なじまないと考えている。



※2 SNS=Social Networking Serviceの略。人と人とのつながりをインターネット上で構築するサービスの総称
※3 スクールソーシャルワーカーは様々な困難に直面している子どもたちの背景に注目し、環境への働きかけによって問題の解決・軽減をサポートする福祉専門職

常任委員会・特別委員会等の活動をお知らせします(11月～12月)

常任委員会
◇総務財政委員会
【開会日】28年11月30日
【議案審査】第82・83、90・91、103～108号 【所管事項調査】 (1)「杉並区個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例」改正案の区民等の意見提出手続の結果について (2) 寄付の受領について
◇区民生活委員会
【開会日】28年11月24日
【議案審査】第84・92号 【所管事項調査】 (1) 外国人学校通学児童生徒保護者負担軽減補助の見直しについて (2) 高井戸地域区民センター外2施設の次期指定管理者候補者の選定結果について ほか2件
◇保健福祉委員会
【開会日】28年11月25日
【議案審査】第93～97号 【付託事項審査】陳情審査 【所管事項調査】 (1) 科学館跡地における特別養護老人ホーム等整備・運営事業者の選定結果について (2) 認知症高齢者グループホーム等の補助対象事業の選定結果について ほか7件
【視察日】28年12月12日 【視察内容】障害者施策の調査(高円寺障害者交流館)
◇都市環境委員会
【開会日】28年11月28日
【議案審査】第85・86号 【付託事項審査】陳情審査 【所管事項調査】 (1) 杉並区居住支援協議会の設立について (2) 狭い道路の拡幅に関する取り組みについて ほか4件
◇文教委員会
【開会日】28年11月29日
【議案審査】第87～89、98・99号、109・110号 【所管事項調査】 (1)「平成28年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(平成27年度分)」の実施結果について (2) 区立小学校における特別支援教室拠点校の増設について ほか5件

議会運営委員会
【開会日】28年11月9日
【議題】定例会の提案事項について ほか
【開会日】28年11月17日
【議題】定例会の追加提案事項について ほか
【開会日】28年11月25日
【議題】定例会の追加提案事項について ほか
【開会日】28年12月7日
【議題】議案審査結果報告について ほか
【開会日】28年12月15日
【議題】臨時会の提案事項について ほか

特別委員会
◇災害対策特別委員会
【視察日】28年11月23日
【視察内容】平成28年度杉並区総合震災訓練(井草森公園・旧杉並中継所)
【開会日】28年12月1日
【所管事項調査】 (1) 平成28年度杉並区総合震災訓練の実施結果について (2) 道路等の除雪について ほか1件
◇道路交通対策特別委員会
【開会日】28年12月2日
【所管事項調査】 (1) 外環道について (2) 「杉並区自転車利用総合計画」の改定について ほか2件
【視察日】28年12月16日 【視察内容】自転車通行帯、東京外かく環状道路に関する調査(荻窪、練馬区)
◇文化芸術・スポーツに関する特別委員会
【開会日】28年12月5日
【所管事項調査】 (1) 文化・芸術振興審議会における文化プログラムの検討について (2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた参画プログラム等の取組について ほか1件
◇議会改革特別委員会
【開会日】28年12月6日
【所管事項調査】 (1) 議会基本条例について (2) 議会図書室・議員厚生室について

平成28年常任委員会の行政視察についての報告書を区議会ホームページに掲載しました。

区議会ポスターの写真を募集します！

平成29年第2回定例会(5月)の開会をお知らせするポスターの写真を募集します。

■内容：杉並区内で応募者自身が撮影した、5・6月の季節にあった風景や表情豊かな人物写真など、未発表の作品。※人物が写っている場合は、その人物の許可を得ていること。

■募集期間：平成29年2月3日(金)必着

■規格：データまたはプリント(2L～六つ切り)のどちらか

■応募方法：①撮影者の住所・氏名・電話番号、②撮影場所、撮影年月日、被写体についての簡単な説明を明記の上、区議会事務局へ郵送または持参。データの場合は、CD-Rに記録して応募してください。

■その他：①杉並区議会広報委員会が審査します(賞品等はありませんので、ご了承ください)。②ポスターは、開会の1週間前から閉会までの間、区内約250カ所の地域掲示板等に掲示します。③区議会ホームページに募集の詳細を載せています。

■お問い合わせ・応募先：区議会事務局 広報担当

◇井草地区における子育て環境の整備に関する陳情(28陳情第12号)
◇保育園の開設を求める陳情(28陳情第21号)
◇受動喫煙防止に関する陳情(28陳情第22号)
◇上井草保育園の民営化計画に関する陳情(28陳情第24号)
◇「家賃補助制度」の創設に関する陳情(28陳情第28号)

|| 陳情の審査結果 ||

〔不採択〕

28年11月22日に全員協議会を開催し、「杉並区実行計画(平成29年度～31年度)等の改定」、「杉並区区立施設再編整備計画(第一期)・第一次実施プラン(平成29・30年度)の改定」について区から説明を受けました。
【全員協議会】区政に関する重要事項や議会の運営に関し、議員全員で協議または調整を行う会議

全員協議会を開催しました

議会日程
22日 本会議
16日 道路交通対策特別委員会(視察)
15日 議会運営委員会
12日 保健福祉委員会(視察)
7日 議会運営委員会
6日 議会改革特別委員会
5日 文化芸術・スポーツに関する特別委員会
2日 道路交通対策特別委員会
1日 災害対策特別委員会
《12月》
30日 総務財政委員会
29日 文教委員会
28日 都市環境委員会
25日 議会運営委員会
24日 区民生活委員会
23日 災害対策特別委員会(視察)
22日 全員協議会
21日 本会議
18日 本会議
17日 議会運営委員会
9日 議会運営委員会
8日 議会運営委員会
《11月》
9日 議会運営委員会
8日 議会運営委員会

議案等の概要と審議結果

第4回定例会（会期：平成28年11月17日から12月7日）

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 平成28年12月7日議決（※は11月22日議決）

議案番号	件名	概要	自民	公明	未来	共産	平和	自無	杉わ	共生	美杉	無	無木	結果
82号	杉並区個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	個人番号を利用することができる事務等の設定等	○ 欠1	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
83号	杉並区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	雇用保険法の改正に伴う規定の整備	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
84号	杉並区特別区税条例の一部を改正する条例	特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例の創設等	○ 欠1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
85号	杉並区立自転車駐車場条例の一部を改正する条例	自動二輪車に係る駐車場の使用料の設定等及び西荻窪北自転車駐車場の廃止	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
86号	杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例	廃棄物処理手数料及び動物死体処理手数料の改定	○ 欠1	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
87号	杉並区学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例	学校教育職員の定義の改正等	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
88号	杉並区体育施設等に関する条例の一部を改正する条例	永福体育館の使用料の設定等	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
89号	杉並区学校教育職員の教育管理職選考及び4級職（主幹教諭・指導教諭）選考に係る事務の委託について	県費負担教職員と選考水準の均衡を図るため、杉並区学校教育職員の教育管理職選考及び4級職（主幹教諭・指導教諭）選考に係る事務を東京都に委託する。	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
90号	土地の取得について	富士見丘地域学校用地として、久我山二丁目19番の土地7,405.45㎡を取得	○ 欠1	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	可決
91号	平成28年度杉並区一般会計補正予算（第6号）	保育士確保に向けた新たな取組や、施設再編整備計画に基づくゆうゆう下高井戸館の整備及び下高井戸児童館の改修に係る工事費など、新たな事情の変化や緊急性等の観点から、11事業3億4,639万8千円の補正と債務負担行為の補正	○ 欠1	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	可決
92号	杉並区立高井戸地域区民センター外2施設の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 指定の期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日	○ 欠1	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
93号	杉並区立上高井戸保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：社会福祉法人風の森 指定の期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日	○ 欠1	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
94号	杉並区立高井戸保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：社会福祉法人東京家庭学校 指定の期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日	○ 欠1	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
95号	杉並区立高円寺北保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：コンピウィズ株式会社 指定の期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日	○ 欠1	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
96号	杉並区立高円寺南保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：社会福祉法人けいわ会 指定の期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日	○ 欠1	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
97号	杉並区立荻窪北保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：社会福祉法人和光会 指定の期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日	○ 欠1	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
98号	杉並区荻窪体育館外2施設の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：公益財団法人杉並区スポーツ振興財団 指定の期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日	○ 欠1	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	可決
99号	杉並区下高井戸運動場外1施設の指定管理者の指定について	指定管理者の名称：公益財団法人杉並区スポーツ振興財団 指定の期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日	○ 欠1	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	可決
100号	杉並名誉区民を定めることについて ※	野村四郎（のむら しろう）氏を名誉区民に定めることに同意	○ 欠1	○ 欠1	○	○	○	○	×	○	○	○	○	同意
101号	人権擁護委員候補者の推薦について ※	吉橋正美（よしはし まさみ）氏を候補者として推薦	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
102号	杉並区教育委員会委員の任命の同意について ※	折井麻美子（おりい まみこ）氏の任命に同意	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
103号	仮称杉並区立高円寺地域小中一貫教育校及び併設1施設建設建築工事の請負契約の締結について	契約金額：58億8,600万円 契約の相手方：白石・渡辺・目時・矢島建設共同企業体	○ 欠1	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	可決
104号	仮称杉並区立高円寺地域小中一貫教育校及び併設1施設建設電気設備工事の請負契約の締結について	契約金額：4億4,712万円 契約の相手方：サンワ・愛工大興・タツツ建設共同企業体	○ 欠1	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	可決
105号	仮称杉並区立高円寺地域小中一貫教育校及び併設1施設建設給排水衛生設備工事の請負契約の締結について	契約金額：3億3,804万円 契約の相手方：吉田・ユーダイ建設共同企業体	○ 欠1	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	可決
106号	仮称杉並区立高円寺地域小中一貫教育校及び併設1施設建設空調設備工事の請負契約の締結について	契約金額：6億6,312万円 契約の相手方：松本・ヤコー・黒澤建設共同企業体	○ 欠1	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	可決
107号	杉並区長等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	区長等の給与の改定等	○ 欠1	○	○	×	×	○	×	○	○	×	×	可決
108号	杉並区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	職員の給与の改定	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
109号	杉並区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	幼稚園教育職員の給与の改定	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
110号	杉並区学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	学校教育職員の給与の改定	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
提出委員会 2号	議員の派遣について ※	杉並区と瑞草区（韓国）は友好都市協定締結25周年を迎えることから、区と区議会が合同で瑞草区を訪問し、友好親善を一層深めるため、区長からの派遣依頼に基づき議員を派遣する。	○ 欠2	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	可決

第2回臨時会（会期：平成28年12月22日）

○=賛成 ×=反対 除=除斥 平成28年12月22日議決

議案番号	件名	概要	自民	公明	未来	共産	平和	自無	杉わ	共生	美杉	無	無木	結果
再議 94号	杉並区立高井戸保育園の指定管理者の指定について	第4回定例会議案第94号をご覧ください。	○ 除1	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決

議員別の表決結果は、杉並区議会ホームページの「議案の一覧」でご覧になれます。

《会派名・構成人数》

自民／杉並区議会自由民主党（12人）、公明／杉並区議会公明党（8人）、未来／区民フォーラムみらい（6人）、共産／日本共産党杉並区議団（6人）、平和／いのち・平和クラブ（6人）、自無／自民・無所属クラブ（5人）、杉わ／杉並わくわく会議（1人）、共生／共に生きる杉並（1人）、美杉／美しい杉並（1人）、無／無所属（1人）、無木／無所属（木村）（1人）

◆平成28年第4回定例会の議案第94号は、審議・採決に参加できない議員が退席せずに加わったため、瑕疵ある議決となり、第2回臨時会で再議されました。区民の皆様をはじめ関係機関の方々には、議会への信頼を大きく欠く結果になりましたことをお詫び申し上げます。今後は、このようなことが起きないように再発防止に努めてまいります。